

教育

地域ぐるみの

(5)「町じまん」で二川の豊かな歴史にふれる

豊橋市では地域に根ざした「特色ある学校づくり」に取り組んでいます。このコーナーでは、校区に息づく文化・歴史・自然などを活用し、保護者や地域住民の協力を得ながら学んでいる子どもたちの姿を紹介します。

市の南東部に位置する二川校区。梅田川と落合川、二つの川が合流するため「二川」と呼ばれるこの地域は、昔から交通の要衝で、特に江戸時代には宿場町として栄えました。また、歴史ある寺社が数多くある一方、戦争遺跡のトーチカが、戦争の記憶を生々しく伝えていきます。そんな二川の歴史を感じ取るため、小学校3年生の「総合的な学習」がスタートしました。

■「二川の町じまん」を探ろう

まずグループに分かれて校区を探検し、次のような「町じまん」を見つけました。

- 水の確保に悩んでいた開拓農業を変えた「豊川用水」
- 「小渕志ちの玉糸製糸」で栄えた製糸工場
- 豆味噌・溜まり醤油工場

- 「二川八幡神社・大岩神明宮」など伝統や歴史ある神社
 - 終戦間際に作られた「トーチカ」(機関銃などを備えたコンクリート製の防衛施設)
 - 道標の役割を果たした「秋葉常夜灯」
 - 全国的にも貴重な宿場の遺構が残る「二川宿本陣」
- 子どもたちは、歴史を大事にしている二川の町を再発見し、さらに追究することにしました。

■町並みに隠された先人の思い

「二川宿」グループは、旧東海道の町並みについて「なぜ町並みが長細いのか」「道が折れ曲がっているのはなぜか」などの疑問点を調べました。校区史や二川宿本陣資料館を活用し、地域の人の話も聞いて、江戸時代にそのルーツがあることが分かりました。



旧東海道の様子

- 宿場の仕事を軽減するため、沿道の二川と大岩の町が一つにまとまり、長い町並みになった
 - 街道を曲げて、互いの大名行列が視界に入らないようにし、いざこざを防いだ
 - 子どもたちは、二川の町並みには色々な工夫が施され、町への先人の思いが込められていることを知りました。
- 〈子どもたちの感想〉
- 「折れ曲がった道も昔の人々の工夫だなんて、驚きました」

■今も残る戦争の記憶



トーチカを調べる子どもたち

静かな住宅地にぼつんとあるコンクリートの建造物。「これは何だろう」という声から「トーチカ」グループの調査が始まりました。地域の人への取材で、この建物は、太平洋戦争末期に海からの敵を砲撃するために山の斜面に建てられたと聞いて、子どもたちはびっくり。

- 戦時中、岩屋から高山射撃場の一带は防衛陣地が築かれ、地下司令部もあった。
- 兵隊たちが妙泉寺などの寺院に寝泊まりし、防空壕や塹壕を作る工事をした。

子どもたちは、身近な地域と戦争の関わりや、町を戦禍から守ろうとした人々の存在を知りました。

〈子どもたちの感想〉

「トーチカの前から二川の町をながめました。海の方から敵がいつ来るかドキドキしていただろうなあ」

「食料も少ない時に、決戦に備えてトーチカなどを作るのは大変だったろうなあ」

■「町じまん」から地域を思う心へ
子どもたちはこの学習をとおして、自分たちが歴史豊かな地域に住んでいることを知りました。また、今も地域の歴史を守り伝えていくさまざまな人々にも出会いました。

今後も、自分の住む地域に関心を持ち、本陣祭りや各神社のお祭りなど地域の行事に積極的に参加し、地域を愛する心を持ち続けてほしいと願っています。

問合先 二川小学校(☎41・0550)

豊橋の学校教育の指針についてはホームページ(http://www.city-toyohashi.aichi.jp/bu_kyoiku/gakkoukyoku/)をご覧ください。



運行中の「地域生活」バス・タクシー（東部東山線）

7月2日から運行を開始した「地域生活」バス・タクシー（東部東山線）は、JR二川駅と路面電車の運動公園前電停を結んでおり、買い物や通院などにとても便利な公共交通です。現在はおおむね2年間の実験的な運行ですので、運行を続けるためには皆さんの利用が必要不可欠です。ご利用をお願いします。

運行日 月・水・金・土曜日（年末年始は運休） **時刻表** 下表 **運行経路（バス停位置）** ①二川フランチ館（店舗東玄関横）②二川駅（北口広場）③視聴覚教育センター④市営東山住宅⑤ガーデンガーデン⑥岩屋緑地北⑦東山漢方前⑧セブンイレブン豊橋大岩町店（店舗裏）⑨すこやかかしの里⑩豊橋医療センター（玄関前）⑪ひがし循環器クリニック（玄関前）⑫しまむら飯村店⑬ドミール飯村店（店舗裏）⑭パレマルシェ飯村⑮下平医院南⑯手芸トーカー※下り／ほびーらトウア※上り⑰運動公園（電停横駐車場内トイレ付近） **車両** シャンボタクシー（定員9人） **運賃** 大人200円、小学生100円、小学生未満無料、12枚綴りの回数券を2千円で販売

■「地域生活」バス・タクシー 主なバス停の時刻表

上り							
運動公園(発)	セブンイレブン豊橋大岩町店 8:30 発	9:15	10:25	11:35	13:45	14:55	16:05
豊橋医療センター(発)		9:26	10:36	11:46	13:56	15:06	16:16
市営東山住宅(発)	8:36	9:35	10:45	11:55	14:05	15:15	16:25
二川駅(発)	8:41(着)	9:40	10:50	12:00	14:10	15:20	16:30(着)
二川フランチ館(着)		9:43	10:53	12:03	14:13	15:23	
下り							
二川フランチ館(発)		9:50	11:00	13:10	14:20	15:30	
二川駅(発)	8:43	9:53	11:03	13:13	14:23	15:33	
市営東山住宅(発)	8:48	9:58	11:08	13:18	14:28	15:38	
豊橋医療センター(発)	8:57	10:07	11:17	13:27	14:37	15:47	
運動公園(着)	9:08	10:18	11:28	13:38	14:48	15:58	

その他 身体障害者・療育手帳所持者で、手帳を提示した方と付き添いの方1人は半額。豊橋市福祉回数乗車券も利用可能

問合せ先

都市計画課 ☎51・2620

☎ http://www.city.toyohashi.aichi.jp/bu_toshi_keikaku/toshikeikaku/toshikoutuu/bus-taxi/

「地域生活」バス・タクシー（東部東山線）を利用しましょう

特定健康診査・健康診査を受けましょう

対象 7月中旬以降に発送した豊橋市国民健康保険・後期高齢者医療制度の健康診査（受診券をお持ちの方）
実施期間 来年1月31日まで **費用** 無料 **実施場所** 市内133の医療機関または校区巡回健診（10月26日まで実施。予約制、健康課 ☎51・2374）※実施機関・場所は本紙7月1日号、9月15日号、保健衛生事業のご案内、ホームページ（<http://www.city.toyohashi.aichi.jp/kokuhofokuteikenshin.html>） **その他** 健診票を紛失された場合は再交付が必要です

■特定健康診査を含む人間ドックの実施医療機関が増えました

実施機関名 国立病院機構豊橋医療センター（飯村町字浜道上 ☎62・0301） **コース名** 日帰りドック **自己負担額** 2万2100円程度、75歳以上は2万5600円程度（定価料金3万5千円） **申し込み** 電話で平日の午後2時～3時に病院へ問い合わせてください（予約制、受入人数に限りあり）※特定健康診査を含む人間ドックを受ける場合に限り2月末日まで受診できます

問合せ先

国保年金課 ☎51・2262

■メタボリックシンドローム解消の支援（特定保健指導）が始まります

特定健康診査の結果、生活習慣の改善が必要と判定された方は、健康保持のため、ぜひ特定保健指導（無料）を受けましょう。生活習慣改善の必要度に応じて、3つのグループに分けて支援を行います。対象者には個別にお知らせします。

■特定保健指導

生活習慣改善の必要度	支援内容
低い方を含む全員	<情報提供>生活習慣の見直しに役立つリーフレットを配布します
中程度の方	<動機付け支援>メタボリックシンドローム予備群の方に、生活習慣改善に向けて、面接による支援を原則1回行います
高い方	<積極的支援>メタボリックシンドローム該当の方に、生活習慣改善のため、目標や行動計画を設定し、継続的な取り組みが実践できるような支援を行います。面接・電話などにより、3～6か月間、継続的に支援します

※特定健康診査の結果、治療が必要と判定された方は医療機関に受診しましょう